

2019年度
(通算第8回) 初年次教育部門

教育実践・研究発表会

本学では、「違いを共に生きる・ライフデザイン」と「日本語表現 T1」の2科目を、新入生全員が受講する〈基幹科目〉に位置づけています。基幹科目が目指すのは、大学の理念を理解し、多様な価値観に触れ「共生」を模索するなかで自分自身と向き合うこと、そうした思考のプロセスを自分のことばで論理的に説明する確かな表現力を養うことであり、これは次代を生き抜く力の基盤となります。

このたび、上記〈基幹科目〉を中核とする初年次教育部門の学修支援と、各学科・専攻の導入教育ならびに初年次教育との連携に資することを目的とした「教育実践・研究発表会」を開催します。「10年先、20年先に役立つ人材の育成」を目指し、現場ではいまだどのような教育指導が求められているのか、問題意識を共有する場になれば幸いです。

お気軽に会場まで足をお運び下さい。

日時

2020年3月3日(火)
15:00~16:50

会場

K1会議室
長久手キャンパス研究棟2階

研究発表

問題発見力と情報収集、整理に向ける意識との関連性

—日本語表現 T2 発表資料を例として—

[発表者] 初年次教育部門講師 小林 珠子

初年次修了を迎える大学生の学術的文体の習熟度

[発表者] 初年次教育部門講師 久保田一充

ライティングサポートデスクにおける学生チューターの活動報告

[発表者] 初年次教育部門教授 外山 敦子
初年次教育部門助教 増地ひとみ

問い合わせ先

初年次教育部門 syonenji@asu.aasa.ac.jp

担当：外山（内線〈長久手〉2321）

勢力（内線〈長久手〉2820）



プログラム及び発表概要

15:00	主催者あいさつ 初年次教育部門長・文学部教授 中嶋 真弓
15:10	問題発見力と情報収集、整理に向ける意識との関連性 — 日本語表現 T2 発表資料を例として — 初年次教育部門講師 小林 珠子
15:40	【概要】 日本語表現 T2 では、11 のテーマの中から 1 つを選択し、そのテーマに関する資料を収集し発表を行う。発表に際しては、①議論の背景および展開、②各論者の主張と根拠の整理、③議論の批判的検討の 3 点を含むことが必須となっている。このうち、②で行う情報整理に問題が見られることが多い。本発表では、なぜこのような問題が生じるのかを検討し、今後の指導に必要となることを考えていきたい。
15:45	初年次修了を迎える大学生の学術的文体の習熟度 初年次教育部門講師 久保田一充
16:15	【概要】 初年次科目後期第 14 週の授業内にて、受講生に、表現上の問題がある文章を提示し、学術的文章として適切／より適切になるよう、添削を求めた。また、添削箇所について、修正が必要な理由も記述させた。この調査により、当該学生らが学術的文体の性質をどの程度理解し意識しているかを明らかにし、表現学習における現状と課題を確認する。
16:20	ライティングサポートデスクにおける学生チューターの活動報告 初年次教育部門教授 外山 敦子 初年次教育部門助教 増地ひとみ
16:50	【概要】 ライティングサポートデスク (WSD) の学生チューター (文章指導員) は、教員アドバイザーと協働して、日々様々な業務に従事している。本発表では、彼らの 1 年間の活動の様子を紹介する。なお、当日は複数のチューターも登壇し、WSD 業務にどのような意義を見いだしているか、業務を通じて得た学びをどう学生生活に還元しているかなどを報告する予定である。

※ 発表資料のみご入用の方は、初年次教育部門(内線<長久手>2820/syonenji@asu.aasa.ac.jp)までご連絡ください。